

# 長岡京市民大学

2020. 2.27. (木)

担当：長岡京おはなしの会“ささぶえ”

小野操子・小野田照代・山本陽子

## 第21講座 昔話を楽しむ（日本のおはなし・世界のおはなし）

### □長岡京おはなしの会 “ささぶえ” について

#### ①成り立ち

1984年1月 向日市・長岡京市・大山崎町の文庫のお母さんたちが中心となり、「乙訓おはなしの会」が発足。1995年「長岡京おはなしの会 “ささぶえ” 」と改名、現在にいたる。

#### ②活動のねらい

1. おはなし（素話／かたり ともいう）で、物語を聞く楽しさ・想像する楽しさを伝える。
2. ブックトーク（テーマに関連付けて複数の本を紹介すること）で、本と出会うきっかけをつくる。
3. おはなしや本の世界を共有して、豊かで温かな心の交流をはかる。

#### ③活動内容

- ・長岡京市立図書館での「おはなしとブックトークの会」
- ・乙訓地域の小中学校へのおはなし配達
- ・大人のためのおはなし会（年に1回10月ごろ開催）

### □おはなしとは？

昔話などの物語を語り手がすっかり覚えて自分のものとし、本を見ないで語るもの。

（東京こども図書館HPより）

語り手は聞き手の顔を見て語りかけ、聞き手は耳で聞いて物語の世界を楽しむ。

☆ささぶえでは、「日本の昔話」「世界の昔話」「伝説」「民話」「創作」などをテキストから選び語っています。

## わらべうた（日本の伝承童謡）

山本陽子（長岡京市民大学 2020 年 2 月 27 日）

- ・歌と遊びが一体となっていて、文字がない時代から口伝えにより伝承されている。
- ・短くやさしいメロディ曲が多く、すぐに覚えて遊べる。
- ・わらべうたの楽しみ方を知った子どもは、おはなしを楽しむことができる。
- ・大人も子どもも楽しめる。

人は手を取りあって肌のぬくもりに触れ、目と目を見詰め合ってうなずきあい、こ  
とばを交わし合ってお互いに分かり合い、はじめて心が通い合う—

阿部ヤエ 著『心を育てる唄』より

### ♪でんでらりゅうば…長崎のわらべうた

- |             |                    |
|-------------|--------------------|
| でん でら りゅう ば | 1. ぐーで手のひらを1回打つ    |
| でて くる ばっ てん | 2. 親指で手のひらを1回打つ    |
| でん でら れん けん | 3. チョキで手のひらを1回打つ   |
| でー て こん けん  |                    |
| こん くら れん けん | 4. 親指と小指で手のひらを1回打つ |
| くら れら れん けん |                    |
| こーん こん      | 5. キツネの形で手のひらを2回打つ |

### ♪たけのこ めだした…季節を楽しむ

たけのこ めだした はなさきやひーらいた はさみでちょんぎるぞ  
えっさ えっさ えっさっさ（じゃんけん）